

# プラスチックを巡る諸課題への対応 検討支援

近年、G7海洋プラスチック憲章をはじめとした海洋プラスチック問題の高まりを受け、我が国ではプラスチック資源循環戦略の策定が進み、諸外国でもプラスチックに対する規制が導入されつつあります。また、NGO等が関連取組を活発化させており、一般消費者の意識も高まりつつあります。

このような市場変化に対応するため、プラスチックを取り扱う企業は、自社の市場におけるプラスチックに関する規制動向や消費者意識の変化を正確に把握し、適時適切な対応をとることが求められています。

MRIは、プラスチック資源循環戦略立案にあたり関係省庁の委託を受け側面支援を実施する等、豊富な知見・ノウハウを有しており、プラスチックを巡る貴社の諸課題に対して実効性の高いご支援をいたします。

## プラスチックを巡る諸課題

## MRIの貢献

1

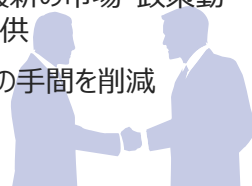
### 時々刻々と状況が変化し、 適切な情報把握が困難

- プラスチックを取り巻く状況が時々刻々と変化し、最新動向を把握する手間がかかる
- 公表情報のみでは、国をはじめとした関係者の本音を把握することが困難



### 市場別実態調査・政策動向 調査

- 貴社の市場別に最新の市場・政策動向を整理・情報提供
- 貴社内情報収集の手間を削減



2

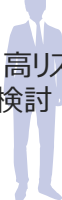
### プラスチックへの対応次第で 企業・ブランドイメージに影響

- 各種規制への配慮、法令順守により企業・ブランドイメージの向上可能性
- 規制強化等への対応が遅れれば企業・ブランドイメージが毀損



### リスクモニタリング調査

- 貴社の事業内容・事業領域に応じて、注視すべきリスク要因を特定
- 特定したリスク要因を定点観測し、高リスク要因については詳細調査、対策検討



3

### 脱プラスチック要請の高まり

- 規制強化による事業継続困難、コスト増、未対応製品の販売禁止
- 一方、先を見越した技術開発・素材開発により先行者利益を享受する可能性あり



### 事業戦略コンサルティング

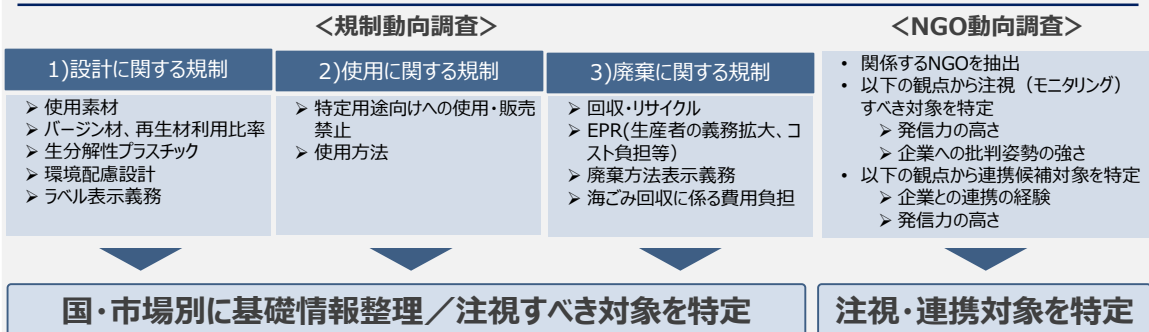
- 貴社のケイパビリティを分析した上で、有望領域の検討・ご提案
- 戦略立案・計画策定（容器戦略検討、マーケティング戦略立案、有望連携先探索等）



MRIは、プラスチックを巡る貴社ビジネスへの機会・脅威  
に対して、“攻め”と“守り”の両面からご支援が可能です！

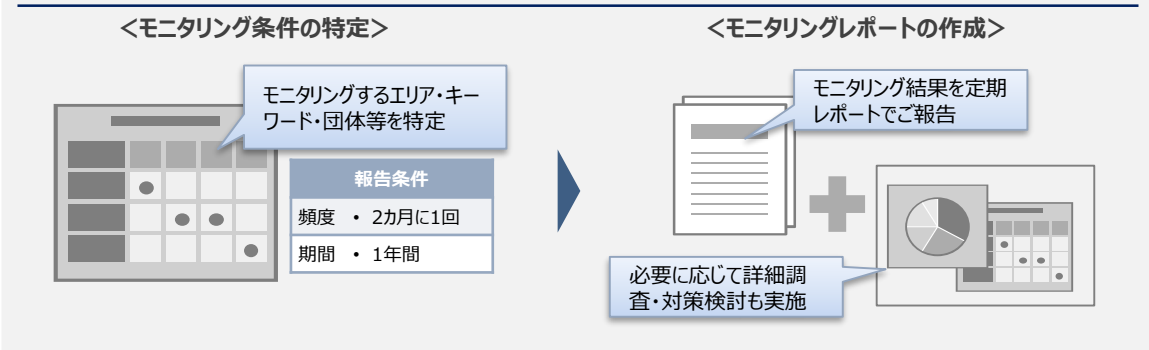
メニュー①  
市場別実態  
調査・政策  
動向調査

規制や市場環境に関する基礎情報を俯瞰した上で、注視すべき対象を特定



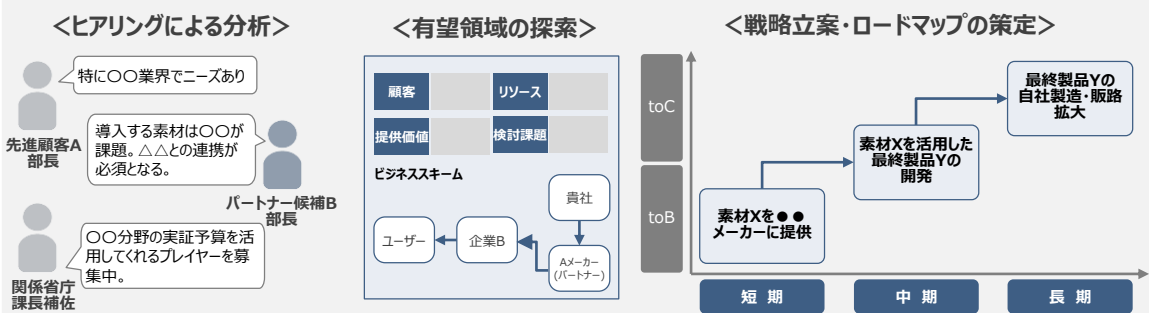
メニュー②  
リスクモニタ  
リング調査

定点観測による早期リスク予兆の発見、迅速な対応策検討を支援



メニュー③  
事業戦略  
コンサルティング

絵にかいた餅で終わらず具体的な戦略立案から計画策定までを支援



- プラスチック資源循環戦略に係る検討業務（環境省）
- バイオマスプラスチックの利用可能性に関する調査（環境省）
- アジア地域等海外の廃棄物関連規制動向調査（環境省）
- 再生プラスチックの業界規格検討業務（経済産業省）
- 容器包装リサイクル制度を取り巻く情報調査・分析事業（経済産業省）
- 食品包材関連規制動向調査（食品メーカー） その他多数

お問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所  
サステナビリティ本部  
環境イノベーショングループ

〔担当〕 新井 r-arai@mri.co.jp  
古木 jfuruki@mri.co.jp  
〔電話〕 03-6858-3566  
〔FAX〕 03-5157-2146